

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	兵庫県
-------	-----

学校の概要

学校名	加古川市立中部中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	障害児学級	計	教員数
学級数	8	9	9	2	28	53
生徒数	314	331	335	6	986	

研究の概要

(1) 研究主題

「確かな学力の向上」を目指したきめ細かな指導の工夫
 —— 自ら学び、自己の向上を目指す生徒を育てるために ——

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

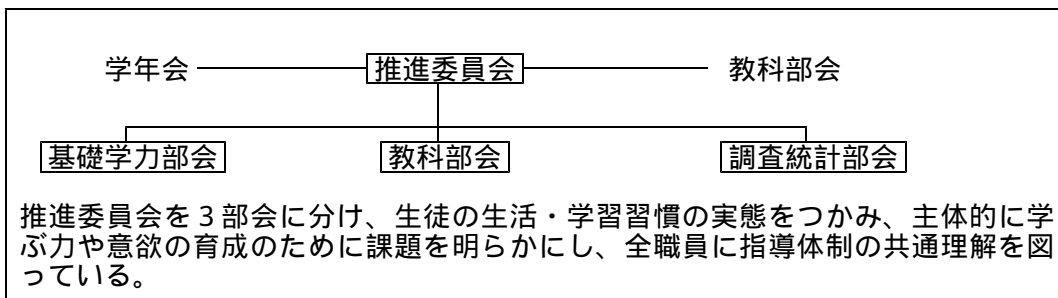
・全学年・数学
 これまでの研究成果と生徒に対する実態調査の結果から教科の枠を広げ、研究に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 基礎・基本の確実な定着と発展を図る指導・支援システムの研究。 研究の見通し アンケートを実施して生徒の学習・生活の実態を把握し、学力向上のための指導・支援システムを確立する。 研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年数学は、1クラスで2コースの少人数授業を実施する。 ・ 2年数学と3年数学は、2クラスで1つの少人数の基礎・基本コースを編成する。 ・ 「努力を期待する」生徒の支援システムを推進する。 ・ 全員合格をめざす「中部中計算力検定(6級 1級)」の実施
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を向上させるきめ細かな指導の実践 研究の見通し 前年度に確立した指導・支援システムの実践により、自ら学び自己の向上を目指す生徒を育てる。 研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2学年の数学は1クラスで2コースの少人数授業を実施する。 ・ 基礎・基本の徹底を図るための指導を推進する。
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

ア、あなたは学校の授業を理解していますか？

	(%)			
	よくわかる	だいたいわかる	すこしわかる	わからない
1年	12	66	19	3
2年	9	60	28	4
3年	7	63	26	4

イ、少人数コースの授業の内容はよくわかりましたか(数学)？

	(%)			
	よくわかった	わかった	あまり	わからなかった
1年	43	43	11	3
2年	28	51	15	6
3年	26	52	18	4

少人数授業での理解度がかなり高くなっていることがわかる。特に1年の(よくわかった、わかった)の割合が高くなっているのは1クラスを2コースに分けているので、他教科より少ない人数で授業を行えたことが原因であると思われる。

ウ、コース別少人数授業はどうでしたか？

	(%)		
	よかった	どちらともいえない	よくなかった
1年	59	36	5
2年	38	56	7
3年	31	66	3

コース別少人数授業が良かったと答えた理由

- ・人数が少ないので、ダラダラしないでやる気がでて集中できた。
- ・内容を詳しく教えてもらって、わかりやすかった。
- ・選択したコースが自分に合っていて、自分に適した進度で学習ができた。
- ・普通の授業より先生に質問や発表がしやすかった。
- ・今までよりわかるようになった。

2. 今後の課題

- ・少人数授業を行っても、約2割の生徒があまりわからなかったと評価している。指導方法の工夫と学習習慣の定着のための手だてが必要である。
- ・2, 3年における少人数授業のコース編成方法の改善

学力把握のための学校としての取組

生活・学習に関するアンケート(7月、12月) 学力テスト(2月)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・学校便り
- ・研究成果を含めたHP作成(準備中)
- ・研究冊子の発行(16年度予定)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無